

全般で指定管理者事業のあり方、手法を見直す検討をしていくという答弁があったが、コスト削減目的の財政面だけで図るのではなく、運営として再考されたい。特別会計への繰り出しについては、社会保障の観点から、国保財政に繰り出すことを再考されたいとありました。

賛成表明

主な評価できる新規事業、増額事業、これらの事業により、歳出の増額は約15億円である。減額効果は約12億円、約3億円が不足することになる。歳入は、市税約2億円マイナス、分担金及び負担額マイナス6億円となるが、地方交付税が3億5千万円のプラスです。結果的に不足する財源確保に、基金取り崩し6億円、市債発

行は4億円見込んだ予算となっている。厳しい状況下においての新しい事業・増額事業に取り組む点を大いに評価・期待し賛成とするとありました。

修正案を除く原案は賛成多数で可決

本会議での採決結果

修正案は賛成少数で否決
原案は賛成多数で可決

その後、議案第22号に対する附帯決議の動議が提出され賛成多数で可決されました。決議の内容は20ページに掲載しています。

■議案第23号

平成31年度湖南市国民健康保険特別会計予算

問 収納率向上特別対策事業費について、所得が200万円以上の人も平成28年度滞納者割合は31.85%を占める、平成29年度31.91%と割合が高い。平成31

年度現年度収納率の目標値を94.8%、滞納繰越分を15%としているが、どのような徴収体制をとるのですか。

答 取り組みの方向性は収納率1月末現在で、現年度分が県内5位で75.34%です。一方滞納繰越は、県内17位で12.38%となっている。納付相談の推進で、分納者に対して納税計画の見直しや、口座振替の加入促進についても対応しているが、残高不足で引き落としできなかった場合、再納付を働きかけるが収納率が上がって来ない。スマートフォンを活用した決済サービス「PayB」での納付も推進することでした。

反対討論

基金を取り崩して保険税を抑えたことは大変評価するが、国民健康保険税が高すぎるた

めに、滞納者が増えていくという現状である。国保加入者は高齢者・無職者・非正規労働者が多く、所得が200万円以下の世帯がほとんどを示している状況で、大変重い負担となっている。均等割の子どもの分が、子ども数が多ければ多いほど、保険税が高くなる。社会保障として一般会計からも繰り入れをしてでも、その点は見ることがあるのとこのことで反対するとありました。

賛成討論

本予算は、皆保険として充実した、大切な会計である。平成31年4月から広域化となった予算であり、市の基金を今後どうしていくか、適切な対応が必要だと考える。現状の維持に尽力されたい。収納率向上については、

税の公平性の観点からも、滞納者は所得の低い方ばかりではないので、向上に向けて取り組みたい。また、特定健診について、大切な予防施策です。

4大危険因子に重点を置きながら、地域に即した指導、受診率目標値60%としているので、今後もその受診率向上に向けて努力されたい。しっかりとこの保険を保持されたいとして、賛成といたしました。

賛成多数で可決

■議案第25号

平成31年度湖南市後期高齢者医療特別会計予算

問 健康診査等事業費983万4千円、受診見込者数が前年度1千人に対して、今年度1100人になっているが、対象者はどのようになっているのですか。

答 被保険者は平成30年4月1日では5291人、医療機関にかかっている人は3422人で、対象者は約2千人のうち受診率50%以上として、1100人としたとの答弁でした。

賛成多数で可決

■議案第26号

平成31年度湖南市介護保険特別会計予算

問 生活支援体制整備事業費2300万円、生活支援コーディネーターをまちづくりセンター長に委嘱すると聞いているが、職務を十分に担えるのか、またどのように職員が関わりますか。

答 地域ささえあい推進員も、まちづくり協議会で選任され認めてもらっている。まちづくり協議会も温度差があるので、一足飛びにはいかないが、足繁く通い、一緒になって進